



リゾートホテル建設について陳情と抗議文提出をした白保リゾートホテル問題連絡協議会の新里昌央会長(左)と柳田裕行さん=6日午後、県庁記者クラブ

長雄志県知事と新里昌央会長に宛てた陳情書と1万1106筆分の署名を提出したほか、同社親会社の株式会社・那覇市、織名安信代表取締役へ文書で抗議した。(8面に関連)

協議会によると計画は石垣島東海岸に位置する白保地区で不動産会社のベストプランニング(株)(那覇市)が所有する土地約3万9600平方㍍に、ヴィラタイプの宿泊施設を併設した全客室数201室のリゾートホテルを建設するもので、来年春ごろの着工を目指している。当初、同計画に参加していたUDS(株)(東京都)は、地元住民の反対を理由に4月12日に、しほサンゴ村で行われた意見交換会直後に計画から撤退している。

同協議会は白保公民館からの要請を受け、白保魚湧く海保全協議会、白保ハーリー組合、白保日曜市運営組合、NPO夏花の地元関係団体が主体となり同問題の課題などを洗い出すためことし7月に設立した。

## 視野は世界 視点は郷土

ニュース・話題▶編集部 0980(82)2122 FAX.0980(83)0675  
広告の申し込み▶営業部 0980(82)2121 FAX.0980(82)1150  
総務部▶0980(82)0936 那覇支局▶098(868)1105(FAX兼)  
制作部▶0980(82)9952 <http://www.y-mainichi.co.jp/>  
●購読申し込み・配達の問い合わせ 0980(83)6155(6:00~19:00) ●月極購読料:1,964円



# 連絡協が反対陳情 県に文書と署名提出

白保リゾート

親会社に  
抗議文も

【那覇】白保集落北側の海岸沿いで株式会社白保リゾート(石垣市、識名安信代表取締役社長)が計画するリゾートホテル建設について白保リゾート

日、県庁記者クラブで会見した。新里昌央会長は「公共下水道が整っておらず、ホテルの排水により海に影響が出ると生態系にも影響がかかる」と開発への反対を訴えた。協議会は同日、翁

長雄志県知事と新里昌央会長に宛てた陳情書と1万1106筆分の署名を提出したほか、同社親会社の株式会社・那覇市、織名安信代表取締役へ文書で抗議した。

協議会の柳田裕行さんは「事業者は地域の住民の理解を得ながら進めるという話だったが、地域の同意が無い状況で県に開発申請を提出し、行政手続きを進めている」と不信感を募らせ、陳情に至った経緯を語った。

また、11月6日には、同社が石垣市に提出した開発行為についての届け出を市が不同意としたほか、同24日の白保公民館の臨時総会では計画に対しほぼ全会一致の「地域総意による反対」を決議しており、同協議会の柳田裕行さんは「事

陳情書で協議会は、開発

区域や、その周辺への浸水被害や排水施設が県の「自然環境保全に関する指針」に反すると指摘するほか、石垣市の景観形成基準にも違反するとした。